

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称:	フェラーエックス (全色共通) _20260512
製品コード:	240X00
整理番号:	Art.no. 240000, 240900
供給者の会社名:	株式会社キャンディルデザイン
住所:	神奈川県川崎市宮前区有馬 8丁目 3-11
電話番号:	044-863-9112
推奨用途:	コーティング (塗料、ワニス)
使用上の制限:	食品と接触する製品には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 3 (眠気/めまい)

環境に対する有害性

水生環境有害性長期 (慢性) 区分 3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない (分類対象外)、分類できないのいずれかに該当する。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体および蒸気

H412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけ

	ること。禁煙。(P210) 容器を密閉しておくこと。(P233) 容器を接地しアースを取ること。(P240) 防爆型の電気機器/換気装置/照明器具を使用すること。 (P241) 火花を発生させない工具を使用すること。(P242) 静電気放電に対する措置を講ずること。(P243) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/...を着用すること。 (P280)
応急措置	皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。 (P303 + P361 + P353) 火災の場合: 消火するために SDS の 5 項に記載の消火剤を使用すること。(P370 + P378)
保管	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403 + P235)
廃棄	内容物/容器を廃棄物処理法及び地方自治体の条例に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
酢酸ブチル	50 ≤ ~ < 100%	2-731	2-(6)-226	123-86-4
軽質芳香族系石油ソルベントナフサ	7 ≤ ~ < 10%			64742-95-6
2-ブタノン	7 ≤ ~ < 10%	2-542	既存	78-93-3
二酸化チタン	3 ≤ ~ < 5%	1-558、5-5225	既存	13463-67-7
1-メトキシ-2-プロパノールアセタート	3 ≤ ~ < 5%	2-3144	既存	108-65-6

4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ、保温し安静にさせること 呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行うこと
皮膚に付着した場合:	汚染された衣類はすぐに脱がすこと 皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水と石鹸で洗い流すこと 溶剤やシンナーは使用しないこと
眼に入った場合:	数分間、注意しながら水で洗い流すこと コンタクトレンズを装着している場合は、容易であれば取り外すこと

	洗淨を続けること 直ちに医師の診察や手当てを受けること
飲み込んだ場合：	飲み込んだ場合は、口を水でよくすすぐこと（意識がある場合のみ） 直ちに医師の診察や手当てを受けること 被災者を安静にさせること 嘔吐を誘発しないこと
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：	疑わしい場合や症状が続く場合は、医師の診察や手当てを受けること
医師に対する特別な注意事項：	応急処置、除染、症状の治療を行うこと

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	耐アルコール泡 二酸化炭素 粉末 噴霧状の水 (水)
使ってはならない消火剤：	強力な水流
特有の危険有害性：	火災時に濃い黒煙が発生する 有害な分解生成物を吸入すると、深刻な健康被害を引き起こす可能性がある
特有の消火方法：	火源付近にある密閉容器を冷却すること 消火に使用した水が下水や排水、地面、または排水路に流入しないようにすること
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	使いやすい場所に呼吸用保護具を設置すること

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置：	火源から遠ざけること 影響を受けた区域を換気すること 蒸気を吸入しないこと
環境に対する注意事項：	地表水や下水に流入させないこと 製品が湖、河川、または下水を汚染した場合は、地域の規制に従い、管轄当局に通知すること
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	不燃性吸収剤（例：砂、土、バーミキュライト、珪藻土）を使用して漏洩物を封じ込め、地域の規制に従って適切な容器に回収し廃棄すること（第 13 項参照） 洗淨剤を使用して清掃すること 溶剤は使用しないこと
二次災害の防止策：	データなし

7. 取扱い及び保管上の注意:

取扱い:

技術的対策: 空気中での可燃性および爆発性蒸気の発生を避け、曝露限界値を超えないようにすること
裸火、火気およびその他の点火源から遠ざけられる場所でのみ使用すること
電気設備は承認された基準に適合した保護を施すこと
製品は静電気を帯びる可能性がある
容器、機器、ポンプおよび換気設備のアースを施すこと
靴を含む帯電防止服の着用を推奨する
床は導電性を有するものでなければならない
防爆工具のみを使用すること

安全取扱注意事項: 熱源、火花および裸火から遠ざけること
本製品を使用する際は粉塵、微粒子およびスプレーミストを吸入しないこと
切削屑の吸入を避けること
容器を加圧して空にしないこと (耐圧容器ではない)
元の容器の材質に対応した容器に常に保管すること
法的な保護および安全規制に従うこと
蒸気は空気より重い
蒸気は空気と爆発性混合物を形成する

接触回避: 皮膚、目および衣類への接触を避けること

衛生対策: 使用中は飲食および喫煙をしないこと

保管:

安全な保管条件: 労働安全衛生規則 (BetRSiVO) に従い保管すること
容器を密閉した状態に保つこと
容器を加圧して空にしないこと (耐圧容器ではない)
喫煙は禁止されている
許可された者のみがアクセスできること
漏れを防ぐため、密閉した容器を直立した状態で慎重に保管すること
床面は「静電気による点火危険回避のためのガイドライン (TRGS 727)」に適合すること
強酸性・強アルカリ性物質および酸化剤から遠ざけること
ラベルの注意事項に従うこと
15°C~30°Cの温度範囲で、換気の良い乾燥した室内に保管すること
熱および直射日光から保護すること
すべての点火源を除去すること

安全な容器包装材料: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
酢酸 n-ブチル (CAS No. 123-86-4)	100ppm	150ppm	TWA 150 ppm、STEL 200 ppm
ブタノン (CAS No. 78-93-3)	200 ppm	200 ppm	TWA : 200

			ppm、STEL : 300 ppm
2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート (CAS No. 108-65-6)	—	—	TWA : 50 ppm、STEL : 100 ppm

化学名または一般名	厚生労働大臣が定める濃度の基準 (8時間)	厚生労働大臣が定める濃度の基準 (短時間)
酢酸 n-ブチル (CAS No. 123-86-4)	TWA: 724 mg/m ³ ; 150 ppm	STEL: 966 mg/m ³ ; 200 ppm
ブタノン (CAS No. 78-93-3)	TWA: 600 mg/m ³ ; 200 ppm	STEL: 899 mg/m ³ ; 300 ppm
2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート (CAS No. 108-65-6)	TWA: 274 mg/m ³ ; 50 ppm	STEL: 548 mg/m ³ ; 100 ppm

設備対策 : 十分な換気を確保すること
局所排気または全体換気によって達成できる
エアロゾルおよび溶剤蒸気の濃度を曝露限界値以下に保つ
ために不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を使用するこ
と

保護具 : 本製品は不浸透性保護具着用が義務付けられている

呼吸用保護具 : 溶剤濃度が職業曝露限界値を超える場合は、認定された適
切な呼吸用保護具を使用すること
4桁の試験番号を含む CE マーク付きの呼吸用保護具のみ
を使用すること
適切な呼吸用保護装置: A

手の保護具 : 長時間または繰り返し取り扱う場合は、以下の手袋素材を
使用すること: PE/EVAL/PE
手袋素材の厚さ > 0.4 mm; 破過時間: > 480 分
保護手袋メーカーが提供する使用、保管、メンテナンスお
よび交換に関する指示と詳細を遵守すること
手袋素材の浸透時間は、皮膚への曝露の強度と時間によっ
て異なる
推奨手袋規格: EN ISO 374
バリアクリームは露出した皮膚の保護に役立つ場合がある
接触後に使用することは避けること

眼、顔面の保護具 : 飛散のおそれがある場合は、密着型保護メガネを着用する
こと

皮膚及び身体の保護
具 : 天然繊維（綿）または耐熱性合成繊維の帯電防止衣類を着
用すること

特別な注意事項 : 接触後は、水と石鹸で皮膚を十分に洗浄するか、適切な洗
浄剤を使用すること
地表水や下水への流入を防ぐこと
追加措置は不要である

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

形状:	データなし
色:	ラベルを参照
臭い:	溶剤含有製剤臭
融点/凝固点:	測定せず
沸点又は初留点及び沸点範囲:	80 °C 方法: 計算値。出典: ブタノン
可燃性:	引火性の高い液体および蒸気
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	1.24 Vol-% ~ 14 Vol-% 方法: 計算値。上限値出典: (2-メトキシメチルエトキシ)プロパノール
引火点:	16 °C 方法: 計算値
自然発火点:	415 °C 方法: 計算値。出典: 酢酸 n-ブチル
分解温度:	測定せず
pH:	該当なし 20 °Cにおいて
動粘性率:	> 20 mm ² /s, 40°C 20 °Cにおける粘度: 100 s 3 mm、方法: EN ISO 2431
溶解性:	不溶
n-オクタノール/水分分配係数 (対数値):	セクション 12 を参照
蒸気圧:	15.7892 mbar、20 °Cにおいて、方法: 計算値
密度及び/または相対密度:	0.95 g/cm ³ 、20 °Cにおいて、方法: 計算値
相対ガス密度:	該当なし
粒子特性:	該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	保管および取り扱いに関する推奨規定を適用する場合は安定である 正しい保管に関する詳細情報: 第7項を参照すること
危険有害反応可能性:	発熱反応を避けるため、強酸、強塩基および強酸化剤から遠ざけること
避けるべき条件:	高温に曝されると、危険有害な分解副生成物が生成する可能性がある
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	高温に曝されると、危険有害な分解副生成物 (例: 二酸化炭素、一酸化炭素、煙、窒素酸化物) が生成する可能性がある

11. 有害性情報

急性毒性 (経口):	区分に該当しない 入手可能なデータに基づき、2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート、炭化水素類 C9 芳香族、ブタノン、および n-酢酸ブチルについては分類基準を満たさない
------------	--

	2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート: -LD50、ラット 8532 mg/kg
	二酸化チタン [空気力学的直径 ≤ 10 μm の粒子を 1%以上含む粉末状]: -LD50、ラット > 5000 mg/kg
	炭化水素類、C9、芳香族: -LD50、ラット 3592 mg/kg
	ブタノン: -LD50、ラット > 2193 mg/kg
	n-酢酸ブチル: -LD50、ラット 10760 mg/kg
急性毒性 (経皮) :	区分に該当しない 入手可能なデータに基づき、2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート、炭化水素類 C9 芳香族、ブタノン、および n-酢酸ブチルについては分類基準を満たさない
	2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート: -LD50、ウサギ > 5000 mg/kg
	二酸化チタン [空気力学的直径 ≤ 10 μm の粒子を 1%以上含む粉末状]: -LD50、ウサギ > 5000 mg/kg
	炭化水素類、C9、芳香族: -LD50、ウサギ > 3160 mg/kg
	ブタノン: -LD50、ウサギ > 5000 mg/kg
	n-酢酸ブチル: -LD50、ウサギ > 14112 mg/kg
急性毒性 (吸入: 気体) :	分類できない 入手可能なデータに基づき、2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート、炭化水素類 C9 芳香族、ブタノン、および n-酢酸ブチルについては分類基準を満たさない
急性毒性 (吸入: 蒸気) :	区分に該当しない 入手可能なデータに基づき、2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート、炭化水素類 C9 芳香族、ブタノン、および n-酢酸ブチルについては分類基準を満たさない
	ブタノン: -LC50、ラット 34 mg/L (4 h)
	n-酢酸ブチル: -LC50、ラット 23.4 mg/L (4 h)
急性毒性 (吸入: 粉じん・ミスト) :	区分に該当しない 入手可能なデータに基づき、2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート、炭化水素類 C9 芳香族、ブタノン、および n-酢酸ブチルについては分類基準を満たさない
	二酸化チタン [空気力学的直径 ≤ 10 μm の粒子を 1%以上含む粉末状]: -LC50、ラット > 6.8 mg/L (4 h)
皮膚腐食性・刺激性 :	分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	区分に該当しない ブタノン: -ウサギ、結果: 強い眼刺激性あり、試験方法: OECD 405
呼吸器感作性:	分類できない 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない
皮膚感作性:	分類できない 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない
生殖細胞変異原性: 発がん性:	分類できない 区分に該当しない 本混合物の成分は、CLPに基づくCMR区分1Aまたは1Bの分類基準を満たさない 二酸化チタン [空気力学的直径 $\leq 10 \mu\text{m}$ の粒子を1%以上含む粉末状]: -備考: 吸入した場合、発がんのおそれの疑いあり
生殖毒性:	分類できない
生殖毒性・授乳影響:	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露):	区分3 (眠気/めまい) 眠気またはめまいを引き起こすおそれがある 2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート: -眠気またはめまいを引き起こすおそれがある、特定標的臓器毒性 (単回暴露)、眠気 炭化水素類、C9、芳香族: -標的臓器: 気道、気道刺激を引き起こすおそれがある、特定標的臓器毒性 (単回暴露)、刺激性 炭化水素類、C9、芳香族: -眠気またはめまいを引き起こすおそれがある、特定標的臓器毒性 (単回暴露)、眠気 ブタノン: -眠気またはめまいを引き起こすおそれがある、特定標的臓器毒性 (単回暴露)、眠気 n-酢酸ブチル: -眠気またはめまいを引き起こすおそれがある、特定標的臓器毒性 (単回暴露)、眠気
特定標的臓器毒性 (反復ばく露):	分類できない
誤えん有害性:	区分に該当しない 飲み込んで気道に入ると生命に危険のおそれがある 炭化水素類、C9、芳香族: -備考: 飲み込んで気道に入ると生命に危険のおそれがある
その他:	[遅発性/即時性/慢性的影響] 結論/まとめ: MWC値を超える溶剤成分の吸入は、粘膜および気道の刺激、ならびに肝臓、腎臓および中枢神経系への障害など、健康被害を引き起こすおそれがある。その兆候として、頭痛、めまい、疲労、筋力低下、眠気、重篤な場合は意識喪失が挙げられる。溶

剤は皮膚吸収によっても上記の影響の一部を引き起こすおそれがある。本製剤への繰り返しまたは長時間の接触により、皮膚の天然脂肪が除去され、非アレルギー性接触性皮膚炎および/または皮膚吸収が生じるおそれがある。飛散した場合は眼刺激および可逆的な障害を引き起こすおそれがある。

慢性的影響:

MWC 値を超える溶剤成分の吸入は、粘膜および気道の刺激、ならびに肝臓、腎臓および中枢神経系への障害など、健康被害を引き起こすおそれがある。本製剤への繰り返しまたは長時間の接触により、皮膚の天然脂肪が除去され、非アレルギー性接触性皮膚炎および/または皮膚吸収が生じるおそれがある

[その他の情報]

11.2. その他の有害性に関する情報 - 内分泌かく乱特性: 情報なし

全体的な CMR 特性評価: 本混合物の成分は、CLP に基づく

CMR 区分 1A または 1B の分類基準を満たさない

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期
(急性) :

データなし

長期継続的影響により水生生物に有害。地表水や下水に流入させないこと。

2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート :

-LC50、134 mg/L 0 - 180 mg/L、魚類 - *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)、96 h、OECD 203

-EC50、> 500 mg/L、甲殻類 - *Daphnia magna* (オオミジンコ)、48 h、入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

二酸化チタン [空気力学的直径 \leq 10 μ m の粒子を 1%以上含む粉末状] :

-LC50、> 1000 mg/L、魚類 - *Pimephales promelas* (ファットヘッドミノー)、96 h

-EC50、> 100 mg/L、甲殻類 - *Daphnia magna* (オオミジンコ)、48 h

-ErC50、16 mg/L、藻類 - *Pseudokirchneriella subcapitata*、72 h

炭化水素類、C9、芳香族 :

-LC50、9,2 mg/L、魚類 - *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)、96 h

-EC50、3,2 mg/L、甲殻類 - *Daphnia magna* (オオミジンコ)、48 h、OECD 202

-ErC50、2,6 - 2,9 mg/L、藻類 - *Pseudokirchneriella subcapitata*、72 h、入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。水生生物に有毒であり、水域環境に長期的な悪影響を及ぼす可能性がある。

ブタノン :

-LC50、2990 mg/L、魚類 - *Pimephales promelas* (ファットヘッドミノー)、96 h、OECD 203

-EC50、308 mg/L、甲殻類 - *Daphnia magna* (オオミジンコ)、48 h、OECD 202

-ErC50、1972 mg/L、藻類 - *Pseudokirchneriella subcapitata*、72 h、OECD 201

酢酸 n-ブチル :

-LC50、18 mg/L、魚類 - *Pimephales promelas* (ファットヘッドミノー)、96 h、OECD 203

-EC50、44 mg/L、甲殻類 - *Daphnia magna* (オオミジンコ)、

	48 h、OECD 202 -EC50、397 mg/L、藻類 - <i>Desmodesmus subspicatus</i> 、72 h、 OECD 201、入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
水生環境有害性長期 (慢性) :	区分 3 長期継続的影響により水生生物に有害。地表水や下水に流入させないこと。
生態毒性 :	長期継続的影響により水生生物に有害。地表水や下水に流入させないこと。 二酸化チタン [空気力学的直径 $\leq 10 \mu\text{m}$ の粒子を 1%以上含む粉末状] : -NOEC、> 100000 mg/L、細菌 - 活性汚泥、28 D ブタノン : -EC0、1150 mg/L、細菌 - <i>Pseudomonas putida</i> 、16 h、 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
残留性・分解性 :	2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート : - 生分解性: 容易に生分解可能、分解率: 100 % (8 D)、備考: 容易に生分解可能 (OECD 基準による) 炭化水素類、C9、芳香族 : - 生分解性: 容易に生分解可能、備考: 容易に生分解可能 (OECD 基準による) ブタノン : - 生分解性: 容易に生分解可能、分解率: 98 % (28 d)、備考: 容易に生分解可能 (OECD 基準による) 酢酸 n-ブチル : - 生分解性: 容易に生分解可能、分解率: 83 % (28 D)、試験方法: OECD 301D、その他の条件: 好気性、 備考: 容易に生分解可能 (OECD 基準による)
生体蓄積性 :	2-メトキシ-1-メチルエチルアセテート : - LogPow 1,2、試験方法: Log KOW ブタノン : - LogPow 0,3 酢酸 n-ブチル : - LogPow 2,3、試験方法: OECD 117
土壌中の移動性 :	毒性データは入手できない
オゾン層への有害性 :	データなし
その他 :	PBT/vPvB 評価 : 混合物中の物質は、REACH 附属書 XIII に基づく PBT/vPvB 基準を満たさない。 内分泌かく乱特性 : 情報なし その他の有害影響 : 情報なし 【その他の情報】 生態学的一般情報 :

地表水や下水に流入させないこと。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	表面水や下水や排水に流入させないこと 本材料およびその容器は安全な方法で廃棄すること 廃棄物および危険廃棄物に関する指令 2008/98/EC に従って廃棄物を処理すること 適用法令に従って廃棄物を処理すること
汚染容器及び包装:	汚染されていない容器はリサイクル可能である 適切に空にされていない容器は特別廃棄物である

14. 輸送上の注意

国際規制:	
国連番号:	UN 1263
品名:	塗料
クラス:	3
容器等級:	II
海上規制情報:	国連正式輸送名 (海上輸送 / IMDG) : PAINT EmS-No.: F-E, S-E
海洋汚染物質:	未確定
MARPOL 73/78、附属書II、IBCコードに従ってばら積み輸送される液体物質:	IBCコードによるばら積み輸送は不可
航空規制情報:	国連正式輸送名 (航空輸送 / ICAO-TI / IATA-DGR) : Paint
国内規制:	
陸上規制情報:	国連正式輸送名 (陸上輸送 / ADR/RID) : Paint トンネル制限コード: D/E
海上規制情報:	データなし
航空規制情報:	データなし
特別の安全対策:	常に密閉容器を直立した安全な状態で輸送すること 製品を輸送する者が事故や漏洩が発生した場合の対処方法を把握していることを確認すること 安全な取り扱いに関する注意事項: 第6~8項を参照すること

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):	非該当
労働安全衛生法:	危険物: 引火性の物 ・メタノール、エタノール、キシレン、酢酸ノルマル—ペンチル (別名酢酸ノルマル—アミル) その他の引火点が零

度以上三〇度未満の物, ・灯油、軽油、テレピン油、イソペンチルアルコール（別名イソアミルアルコール）、酢酸その他の引火点が三〇度以上六五度未満の物, ・ノルマルヘキサン、エチレンオキシド、アセトン、ベンゼン、メチルエチルケトンその他の引火点が零下三〇度以上零度未満の物

有機溶剤中毒予防規則：第二種有機溶剤等

・酢酸ノルマルブチル, ・メチルエチルケトン

名称等を表示すべき危険物及び有害物

・酢酸ブチル（アルキル基の異性体を含む。）規則別表第2の603 令和7年4月1日施行
・石油ナフサ 規則別表第2の1142 令和7年4月1日施行
・メチルエチルケトン 規則別表第2の2034 令和7年4月1日施行
・酸化チタン（I V）規則別表第2の623 令和7年4月1日施行
・酢酸1-メトキシ-2-プロピル 規則別表第2の610 令和8年4月1日施行

名称等を通知すべき危険物及び有害物

・酢酸ブチル（アルキル基の異性体を含む。）規則別表第2の603 令和7年4月1日施行
・石油ナフサ 規則別表第2の1142 令和7年4月1日施行
・メチルエチルケトン 規則別表第2の2034 令和7年4月1日施行
・酸化チタン（I V）規則別表第2の623 令和7年4月1日施行
・酢酸1-メトキシ-2-プロピル 規則別表第2の610 令和8年4月1日施行

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質・皮膚吸収性有害物質

・メチルエチルケトン 令和6年4月1日

作業環境評価基準で定める管理濃度

・酢酸ノルマルブチル
・メチルエチルケトン

毒物及び劇物取締法：

非該当

化審法：

（取消）優先評価化学物質
・メチルエチルケトン

大気汚染防止法：

揮発性有機化合物（VOC）

・法第2条第4項 大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物（浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。）

海洋汚染防止法

有害液体物質 Y 類 : 酢酸ブチル

危険物 : メチルエチルケトン

有害液体物質 Z 類 : メチルエチルケトン、ジオキソチタン (IV)、プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

16. その他の情報

参考文献 :

データなし

その他 :

第 3 項の分類全文 : Flam. Liq. 3 / H226 - 引火性液体 - 引火性液体および蒸気

眠気またはめまいを起こすおそれがある

呼吸器への刺激のおそれがある

Asp. Tox. 1 / H304 - 吸引性呼吸器有害性 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがある

Aquatic Chronic 2 / H411 - 水生環境有害性 - 長期継続的影響により水生生物に毒性がある

Flam. Liq. 2 / H225 - 引火性液体 - 引火性の高い液体および蒸気

Eye Irrit. 2 / H319 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 - 強い眼刺激がある

Carc. 2 / H351 - 発がん性 - 吸入によりがんを引き起こすおそれがある

規則(EC) No 1272/2008 [CLP]に基づく混合物の分類および使用した評価方法

Flam. Liq. 2 - 引火性液体 - 試験データに基づく

STOT SE 3 - 特定標的臓器毒性 (単回暴露) - 計算法

Aquatic Chronic 3 - 水生環境有害性 - 計算法

本 SDS に記載されている情報は、現時点での知識水準ならびに国内および EU 規制に準拠している

書面による承認なしに、本製品を第 1 項に記載された用途以外の目的に使用してはならない

地域の規則および規制が定める要件を満たすために必要な措置を講じることは、常に使用者の責務である

本 SDS に記載されている内容は、本製品の安全要件を説明するものであり、製品の保証された特性とみなすべきものではない

標準製品の最新の SDS は、当社ホームページの該当製品エリア内のダウンロードページからオンラインで入手可能である

STOT SE 3 / H336 - 特定標的臓器毒性 (単回暴露)

STOT SE 3 / H335 - 特定標的臓器毒性 (単回暴露)